

公共事業再評価対象事業 説明資料

平成30年11月5日
富山県 土木部

土木部の平成30年度再評価対象事業概要

○再評価対象事業数

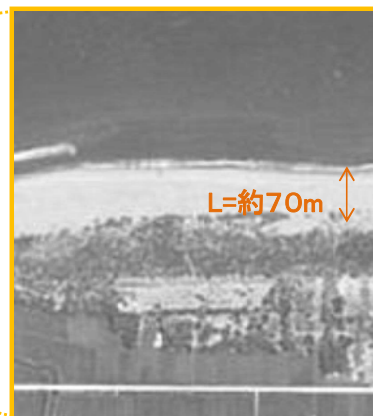
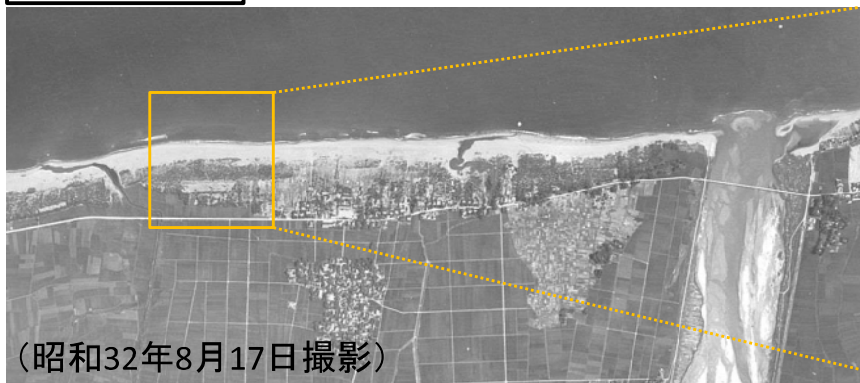
	道路	河川	ダム	海岸	砂防	地すべり	急傾斜	港湾	街路	下水道	合計
対象事業数	5	1	—	1	9	6	2	1	1	1	27
再評価	3 (2)	1			6	1			1		12 (2)
再々評価	2				2	1	2	1 (1)			8 (1)
3回目以上				1 (1)	1	4				1 (1)	7 (2)
重点審議箇所	2	—	—	1	—	—	—	1	—	1	5

()は重点審議箇所内数

富山海岸の砂浜の変化について

昭和32年

<事業着手前>



平成28年

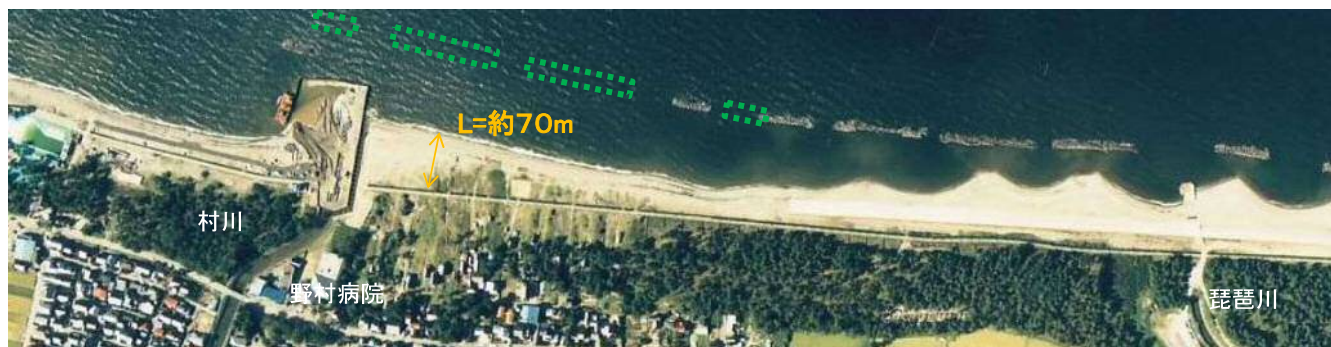


2

富山海岸の砂浜の変化について

平成2年

<離岸堤整備中>



平成22年

<離岸堤整備後>



3

総合的な土砂管理について

●総合的な土砂管理とは

山地から海岸まで土砂が移動する場全体を「流砂系」という概念で捉え、流砂系一貫として、総合的に土砂移動を把握し、土砂移動に関する問題に対して、必要な対策を講じること。

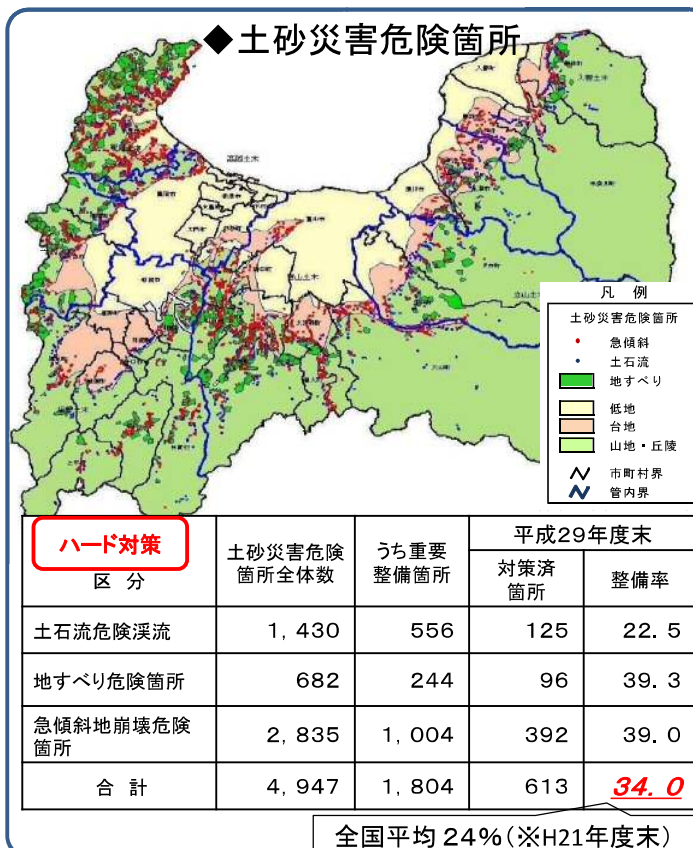
< 土砂移動に関わる課題の例 >

ダム貯水池の堆砂による機能低下、海岸侵食、河床低下による河川構造物への影響 など



4

土砂災害危険箇所の整備状況、土砂・流木対策の推進 (砂防事業の推進)



土石流



山腹や川底の石や土砂が集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象

地すべり



斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象

がけ崩れ

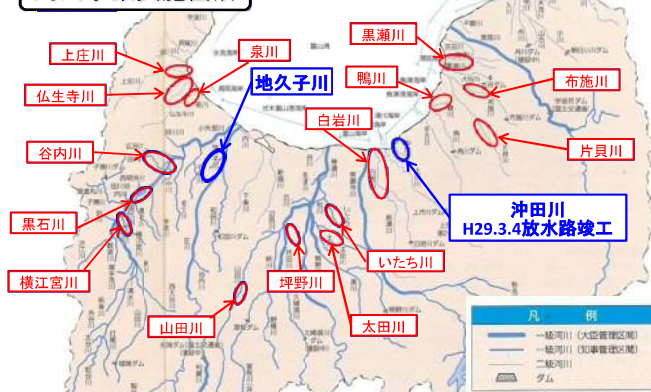


雨が地中にしみ込み水分が土の抵抗力を弱め斜面が突然崩れ落ちる現象

5

治水・浸水対策の推進

河川事業実施箇所



未然防止対策

流下能力を高める河道の**浚渫・伐木**

<浚渫>
郷川
(滑川市)



<伐木>
小川
(朝日町)



近年の豪雨により、市街地等で浸水被害が発生した河川における重点整備

地久子川

事業箇所: 高岡市野村外
事業延長: 1960m
事業期間: H14~
事業内容: 護岸工、橋梁工

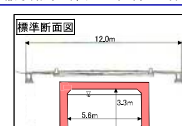


流路を
1本から3本に
改修
(流下能力が
約4倍にアップ)



沖田川

事業箇所: 滑川市加島町外
事業延長: 423m
事業期間: H14~H28
事業内容: 放水路整備



河川における減災のためのソフト対策

「施設では守り切れない大洪水は必ず発生するもの」へ意識を変革し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築

減災対策協議会の設置

全ての水位周知河川を対象に、県内4地区において「大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設置し、概ね5年間の取組内容を記載した「地域の取組方針」をとりまとめ



【減災対策協議会で協議する取組】

- (1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
- (2) 的確な水防活動のための取組
- (3) 氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組 等



【第2回水見地区協議会(H30.5.16)】



【第2回新川地区協議会(H30.5.21)】

住民目線のソフト対策

避難行動につながるリスク情報の周知

1,000年に1度程度

想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を県内41水位周知河川で策定(県)【H31年度中に完了予定】

当該浸水想定に基づく水害ハザードマップを見直し(市町村)



【洪水浸水想定区域図(黒部川)】

避難行動のきっかけとなるリアルタイム情報の提供

河川監視カメラ画像の提供

水位周知河川46箇所について河川監視カメラの映像をインターネットを通じて一般公開



【河川監視カメラ】



【外部公開サイト(富山県河川・海岸カメラ)】

危機管理型水位計の設置

中小河川の水位を把握し避難判断に役立てるため、危機管理型水位計を県内84箇所へ設置予定【H31年度中に完了予定】

避難勧告等の発令に対する支援

ホットライン

市町村長が行う避難勧告等の発令の判断を支援するため、河川管理者から市町村長への直接情報提供の仕組み(ホットライン)を構築【H29試行運用】

水害対応タイムライン

「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理する「水害対応タイムライン」の作成を支援



【富山県災害対応訓練(H30.5.29)】